

モンゴル国公務員獣医師及び民間獣医師実践能力強化プロジェクト

プロジェクトニュース 2022年3月

【病理学的解析、検体の採取・保管方法、検査ラボへの送付方法】に関する2回目の研修が開催されました。】

「Training and practice of clinicopathological analyses: sampling, storage and transportation of specimens」1) 研修研究グループが2022年3月4日にTuv 県 Bayanchandmani ソムで実習を行い、Tuv 県 Batsumber、Bayanchandmani、Bayantsogt、Bornuur、Sumber ソムの公務員及び民間獣医師15人が参加しました。(オンライン講義は2021年9月19日に行われました。)

杉本チーフアドバイザー、プロジェクトスタッフ現地技術分野支援要員のガンゾリグ氏も同行し、解剖した羊から採取した条虫の幼虫を用い、寄生虫の形態観察及びサンプル採取法、固定・同定方法、生物顕微鏡、実体顕微鏡の使い方を教えました。

研修内容

- いくつかの感染症における病理学的変化について(例、鼻疽、馬のウイルス性関節炎、内分泌異常、中毒、関節リウマチ、炭疽、敗血症など)
- 10%ホルマリンの調製方法
- バイオセーフティについて
- 病理解剖による臓器の病理学的変化観察
- サンプリングや保管法、検査ラボへの送付方法
- 剖検報告書作成法、病理学的診断法

1) グループリーダー : Ochbayar.E (SVM)

メンバー: Khorolmaa Ch (SVM), Khorolmaa Ch (SVM), Gereltsetseg G(SVM), Oyuntsetseg Ch(SVM), Khaliunaa Ts(SVM), Delgermaa B(SVM), Altanchimeg A(IVM), Tserenjav J(SCVL), Bilguunchinzorig G(UVO),

アドバイザー: Takashi Kimura

Ph.D., D.V.M. Professor Clinical Sciences of Veterinary Medicine, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University



集合写真



解剖している様子



剖検報告書を作成している様子



顕微鏡を使って同定している様子

【「家畜の帝王切開手術スキルと及び超音波による牛の生殖器疾患検出法」に関する研修が行われました。】

2022年3月17、18日、「C- section” training course for veterinarians」²⁾「Improving bovine reproductive management with ultrasound」³⁾研修グループ合同で、獣医師の外科スキルを向上させるため生命科学大学獣医学部内で「家畜の帝王切開手術スキル及び超音波による牛の生殖器疾患検出法」に関する研修を開催しました。当研修には、Tuv 県と UB 市から合計 15 名の獣医師が参加しました。

モンゴルでは、帝王切開手術の需要は多いにもかかわらず、帝王切開手術を施術できる獣医師が少ないため、産業獣医師には必要な技術となります。

研修初日(3月17日)は、議題に関連した講義を行った後、研修参加者は3チームに分かれ、教員の指導のもと、羊の「帝王切開」手術を実際に行い、研修2日目(3月18日)は、前日と同じ3チームに分かれ、3頭の牛に帝王切開前の直腸検査、超音波機を用いた卵巣および妊娠の識別実習を行った後、実際に牛の「帝王切開」手術を行いました。手術台や手術道具の準備の仕方、麻酔方法、開

腹及び縫合術、手術後の薬や点滴の投与方法等について研修を受け、外科スキルを向上させました。

2) グループリーダー : Alimaa,D(SVM)

メンバー: Tsogbadrah.M(SVM), Byambatsogt.S (SVM), U.Nurbol.U(SVM),
S.Otgonjargal,S(SVM),A.Naranbaatar (UVO), Tsend.Ch (UVO), U.Byambaochir(SVM)

アドバイザー: Masahiro Okumura

Ph.D.,D.V.M.Professor,Clinical Sciences of Veterinary Medicine, Faculty of Veterinary
Medicine,Hokkaido University

3) グループリーダー : Erdenetogtokh.P (SVM)

メンバー: Ganbat.S (SVM), Tsevegdorj. Ch (IVM), Otgonjargal. S (SVM), Dagvajamtsl. B (SVM),
Lkhagvasuren. N (IVM), Gantumur.Ts (UVO)

アドバイザー: Seiji Katagiri

Ph.D., D.V.M.Professor ,Clinical Sciences of Veterinary Medicine, Faculty of Veterinary
Medicine,Hokkaido University



研修での集合写真



子羊を取り出している様子



手術台の様子



エコーを使い指導する様子



牛の帝王切開手術の様子 1



牛の帝王切開手術の様子 2



集合写真

【第 2 回目 TSC 会議が開催されました。】

2022 年 3 月 16 日、第 2 回目 TSC 会議がオンラインで開催され、TSC メンバー、PJ スタッフ、オブザーバー等 17 名が参加しました。

会議では、プロジェクト開始から今までの活動報告や、来年度の活動計画、2年目に入る研修研究グループの選定結果、獣医師免許更新に関するモジュール作成計画について説明。

TSC メンバーからは、モジュール、研修研究グループメンバーの活動への参加度、今後獣医師免許更新制度とどのような形で関わっていくのか等質問が寄せられたほか、研究者同士が協力する重要性、免許更新制度でのモジュール作成の可能性についてコメントがありました。



集合写真

【キックオフミーティングがオンラインで開催されました。】

2022年3月28日、JICA モンゴルプロジェクト国内支援委員、研究研修グループアドバイザー、研究研修グループメンバー、若手研究者が参加し、2022年度採択課題のうち研究研修グループ3課題、若手枠5課題、計8課題についてキックオフミーティングがオンラインで開かれました。研究研修グループ及び若手研究者は、2022年4月1日から2023年もしくは2024年3月31日まで、採択された課題について研究するほか、獣医師免許更新制度内で単位取得研修となりえる研修モジュールの作成サポートを行います。

採択された課題は以下の通りです。

研究研修グループ

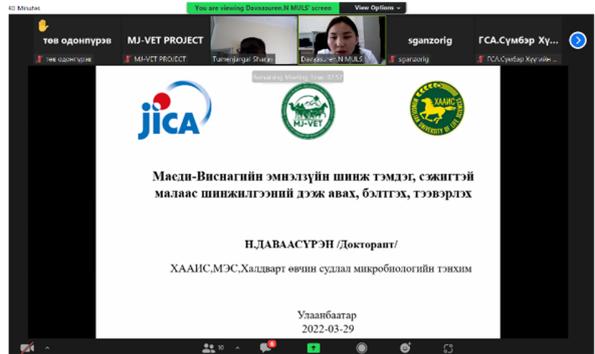
1. Differential diagnosis of small ruminant's lung disease by pathology
2. Molecular biological study and training of Lumpy skin disease
3. Establishment of herd health evaluation methods applicable to emerging intensive dairy farms in Mongolia.
4. Improving the ability to diagnose echinococcosis and prevent zoonotic infections
5. Improving the skills of field veterinarians in the analysis of drug residue in the animal products to enable the establishment of monitoring and analysis of drug residues in Mongolia
6. Practical training in veterinary epidemiology
7. Strengthening the monitoring capability of bacterial foodborne diseases
8. Horse some non-infectious disease

若手研究者

1. Study of Cerebral Coenuroses of small ruminants in Mongolia
2. Development of LAMP assay for the differentiation of taeniid eggs in dogs in Ulaanbaatar
3. Epidemiological survey of Neospora caninum infection in cattle and dogs
4. Molecular Epidemiology of Small ruminant retroviruses (SRRV) in Mongolia
5. A potential reservoir animal of hepatitis E virus in Mongolia



参加者の集合写真



発表の様子